

地域銀行の平成31年3月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

- 実質業務純益は、債券等関係損益の増加及び経費の減少等により、前年同期に比べ、0.4%の増益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ、22.9%の減益。

（単位：億円）

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比
業務粗利益	43,729	42,707	42,233	▲ 474
資金利益	38,419	38,319	37,201	▲ 1,118
役務取引等利益	5,010	5,297	5,281	▲ 16
債券等関係損益	▲ 372	▲ 1,213	▲ 332	881
うち、債券等償却	▲ 14	▲ 20	▲ 31	▲ 11
経費	▲ 30,894	▲ 30,528	▲ 30,011	517
実質業務純益	12,834	12,178	12,221	43
与信関係費用(※)	▲ 861	▲ 1,065	▲ 3,473	▲ 2,408
株式等関係損益	2,136	2,751	2,485	▲ 266
うち、株式等償却	▲ 55	▲ 36	▲ 128	▲ 92
当期純利益	10,002	9,965	7,686	▲ 2,279

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）

	29年3月期	30年3月期	31年3月期
貸出金（末残）	251.0兆円	260.6兆円	269.3兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は30年3月期に比べ増加、不良債権比率も増加。

	29年3月期	30年3月期	31年3月期
不良債権額	4.8兆円	4.5兆円	4.8兆円
不良債権比率	1.90%	1.71%	1.74%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、30年3月期に比べ低下。
- 国内基準行の自己資本比率は、30年3月期に比べ低下。

（国際統一基準行：11行）

（国内基準行：30年3月期 95行、31年3月期 94行）

	30年3月期	31年3月期
総自己資本比率	14.01%	13.84%
Tier1比率	13.61%	13.37%
普通株式等Tier1比率	13.61%	13.37%

	30年3月期	31年3月期
自己資本比率	9.70%	9.47%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）29年3月期、30年3月期の集計対象は106行（地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行）
31年3月期の集計対象は105行（地方銀行64行、第二地方銀行40行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。